

HO YOG

教区新報

1995. 7. 91号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部



協議会で発言する中西正一氏

「僧俗一体で運営を」 第二次蓮如上人遠忌推進の集い

七月四日、総局巡回・第二次蓮如上人五百回遠忌推進の集いが、大雨・洪水警報の出た中、九十人を越す僧侶・門信徒が集い神戸別院仮本堂で開催された。今回の総局巡回は①蓮如上

七月四日、総局巡回・第二次蓮如上人五百回遠忌推進の集いが、大雨・洪水警報の出た中、九十人を越す僧侶・門信徒が集い神戸別院仮本堂で開催された。今回の総局巡回は①蓮如上人五百回遠忌法要の法要期日(十期百日間)の決定と法要の大綱について②総合計画の現況と今後の方針について③阪神・淡路大震災救援・復興の推進について周知と協力を得るため実施された。

当別院が仮設で手ぜまの建物のため、第一部「推進協議会」と第二部「蓮如上人讃仰のつどい」を合わせて開催された。

桜井瑞彦随行講師の法話のあとビデオ上映があり、松村了昌総長・青山法乗中法要事務所理事から総合計画の内容について詳しく説明があり、続いて座長に教区基推委副会長の山崎一朗師が選出され、「法要

へ向けて共に歩む宗門」のテーマで協議会へ入った。協議会では普義成宗会議員が阪神・淡路大震災について「大蔵省指定寄付金について、手続きが非常に大変であるので窓口を本山・教務所で一本化にして欲しい」と述べ、松村総長が「この処置をすれば門徒さんのお寺の復興について寄付すれば免税の措置がとれる重要なことですが、書類だけで大変なことです。エ

キスパートとなる人材を地元で紹介いただけませんか」と尋ね、それを受けて、豊原大成宗会議員が「神戸西組の前住職であり税務会計事務所の専門家の清水氏にお願いして」と述べた。

法要については、中西正一氏(赤穂北組明専寺門徒)より「同朋教団といながら僧侶中心の教団のように思える。企画段階では僧侶のみ、蓮如上人の平座の精神の僧俗一体となった運営に努力頂きたい」と述べた。また、西池哲俊師(出石組勝林寺)より「末寺の法要も僧俗一体となったものに創造していき変革の突破口にする必要があるのでは」と述べた。その他、阪神・淡路大震災の呼称、宗務所職員への対応についての意見が出された。

また松島法城師(多紀組専福寺)より酒生文彦氏の差別発言について総局の見解を求め、松村総長は「仮処分決定があるうとも酒生氏は差別発言をした、宗会での除名処分は正当であった、本人の差別意識の変革を求める三つの態度は変わらない」と述べ、座長のまとめのあと、松村総長のあいさつがあり、恩徳讃を唱和して終了した。



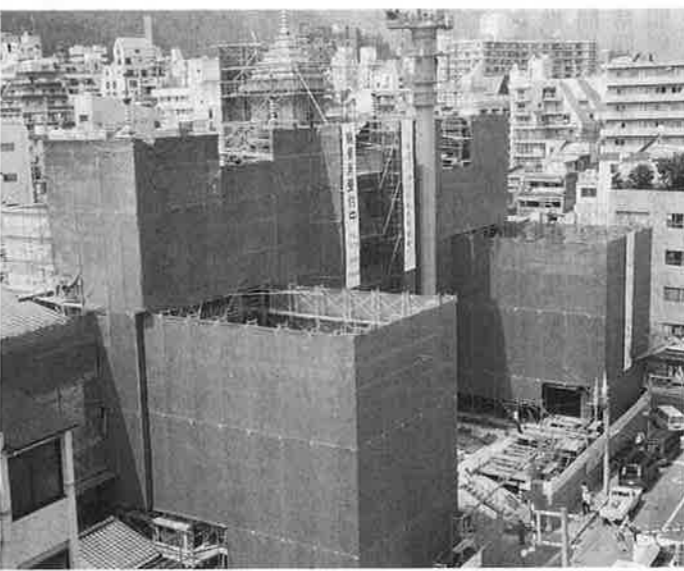
「御同朋・御同行」の精神が薄れているのではと憂慮する昨今でしたが、今回の未曾有の阪神・淡路大震災に逢い、今こそこの精神が生かされて動かされるさいたる時ではないでしょうか

◆今回の震災で寺院を失い、御門徒は家を失い、職を無くし、最愛なる家族を亡くした人々が多くおられます。どんなに悲しい思いをされたことでしょうか◆神戸西組でも全焼全壊の寺院が十八カ寺、半壊、一部損壊と被害の無かった寺院はほとんど無い状態ですが、被害の少なかつた寺院もあり、私の本堂も残りませんでした◆私は残された寺院の責務として、近隣の寺院、御門徒の方々に一日も早い復興を念じておりますが、御本堂が家が復興されますまでは、どうぞ、我が本堂を必要に応じて何日でもお使い下さればと思ひ実行しております。「御同朋・御同行」の末端の働きになればと思っております。

(中村信之)

教区だより 7・8月

9日(日)	仏庄ブロック別研修会(東播)	播磨東組妙覚寺
13日(木)~14日(金)	近同推寺婦研修会	京都
	第3ブロック青年布教使研修会	東海
14日(金)	出石組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	正福寺
15日(土)~16日(日)	別院常例法座	松島法城師 1時半
18日(火)	岡山南組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	江並教堂
20日(木)	第4回近畿地区組長協議会	和歌山
21日(金)~29日(土)	青少年国際研修団	カナダ
23日(日)	仏庄ブロック別研修会(岡山)	岡山北組宝福寺
	近畿ブロック仏青連盟平和のともしびの集い	津村別院
30日(日)	仏庄ブロック別研修会(但馬・丹波)	出石組勝林寺
30日(日)~31日(月)	全国保育大会	岐阜
31日(月)~8月2日(水)	第32回少年連盟サマースクール	城崎組信楽寺
5日(土)	第一土曜仏教講座	鍋島直樹師 1時半
5日(土)~6日(日)	全国真宗青年の集い	本山
6日(日)	永代経開闢法要	大谷本廟
7日(月)~9日(水)	岐阜教区招待サマースクール	飛騨高山
8日(火)	別院孟蘭盆会	1時半
11日(金)~15日(火)	別院盆参り	



5つの尖塔が建った現場 6.28撮影

建設工事進捗状況

本館棟は四階・五階部分の天井下地やクロス下補修が終わり、天井ボード貼りが行われている。また屋上では五つの尖塔が建ち、その屋根飾りが行われている。本堂内陣部分は石柱建てが終わり、本堂全体に足場が組み立てられ、天井下地工事。庫裏棟は屋根の銅板葺きが終わわり、壁、天井ボード貼り、設備器具の取り付けが行われている。

建設費進捗総額 十六億六千九百五十一万三千五百九十一円(73%)
(95年6月30日現在)

仏庄全国大会 参加日程決まる

教区仏庄連盟(出田求理事長)では十一月二十六日開催される「第十二回全国仏教壮年北海道大会」に参加する旅行日程を二泊三日の行程で札幌・小樽市内観光や別院参拝などを組み入れた内容で募集を開始しています。

この大会は平成十年修行される蓮如上人五百回遠忌法要に向け、全国大会を以て後三カ年、北海道・東京・鹿児島で順次開催することにより、法要のお待ち受けの態勢を盛り上げると共に、仏庄組織の拡充と、発展に寄与するために開催されます。

大会参加費が一万円、旅行費用が五万九千円。募集人数が四十五人(定員になり次第締切り)申込みは各組理事を通じて十月五日までに教務所仏庄連盟事務局までお申込み下さい。

「蓮如」のチケットを配布
五木寛之作・前進座「蓮如・我深き淵より」の京都公演が七月十四日から始まるが、前進座より、二百六十カ寺の被災寺院・門信徒の方々への支援として、招待券二千六百八十枚が届けられた。教務所では、早速、組長を通じて該当寺院へ配布をした。

なお、公演の詳細については、前進座京都営業所へお問い合わせ下さい。
075-1561-6300

敬 弔

多田覺圓師(ただ・かく えん) 掛巻東組正覚寺住職) 六月二十一日、五十八才で往生。葬儀は六月二十三日、正覚寺で。「釋覺圓」。昭和五十年より住職在職二十年。その間、昭和五十六年から平成五年まで副組長を務めた。

ご門主出石組ご巡教

「生活に即した法話を」

六月三十日から七月一日、ご門主が出石組（山崎一朗組長）をご巡教された。随行長は総務の吉井智見師、随行講師は森本寛修師（滋賀教区愛知下組西光寺）であった。

JR八鹿駅から昼前に行事寺院である正福寺（山崎瀧朗住職）へ入られ、帰敬式・式典・法座の日程で開催された。

帰敬式には九十六人が受式し、式典終了後には記念撮影・記念植樹も行われた。続いて法座A（守族対象）では第九期に入っている連研についての悩みが中心に話し合われた。

また、法座B（門信徒対象）では、「開かれた教団というが門徒不在で上意下達今の体制をいかに打破するか。同朋運動に取り組みながら教団内の差別事件。伝統と格式だけで若者の苦しみや悩みに答えられないのか」仏壮からは「後継者問題。活動の形骸化・マナー化の問題」仏婦からは「若婦人の育成、大会や研修会で得たものをどう地域・家庭に広げたらよいか。研修会にどうすればた

くさんの人に参加してもらえるのか」などの発言があった。

それを受けて講師の助言では「研修会に出てきた喜びを家庭で話し、おみのりとなる」と述べ、同朋運動についても言及した。随行長のまとめでは「制度・組織によってみなさんの意見を吸収するように努めてい」と述べ、ご門主からは「ご住職とともに問題を解決していただきたい。私たちの法話の課題は具体的に生活に密着した話が大切である。今日の世の中の難しい問題を背負って生きる私たちが、もうひとつ阿弥陀様に背負われて自由のびのびと問題にもぶつかっていきけるそういうすばらしさを南無阿弥陀仏から受け取らせていただく」とお言葉をいただいた。

最後に出石組総代会会長の多田実氏より決意表明があり、恩徳讃斉唱で行事を終了し、宿泊先の出石グランドホテルへ向かわれた。翌日は乗専寺（本多龍雄住職）、勝林寺（西池哲俊住職）、西宗寺（内田宏圓住職）と三カ寺を巡回され、記念撮影や記念植樹の後、本堂でご門主のお言葉があり、随行講師より法話で進められた。

昼食は正覚田中屋で出石そばを召し上がり、豊岡教団で休憩され、JR豊岡駅からご帰山された。

今回の出石組のご巡教で（途中組画変更で、実施組数は変わる）教区内三十九組中三十三組を終え、未実施組が六組（多可組・姫路南組・姫路西組・揖電西組・水上東組・岡山南組）となった。

なお、組巡教は現在第三期（平成四年度～七年度）であるが、八年度に実施できる場合は第三期を延長して実施。また、平成九年十年は実施せず、連如上人五百回遠忌法要終了後、平成十一年下半期から第四期として実施される。

被災寺院復興に向けて研修会 「指定寄付金とは」

文化庁の石川氏が講演

七月三日、本願寺派被災寺院復興支援研修会が神戸ポートピアホテルで、住職・坊守・総代約二百人の参加のもと開催された。

この研修会は被災寺院の一日も早い復興を支援するため、阪神・淡路大震災災害対策現地本部及び行政機関並びに企業・団体が共に手を携えて物心両面にわたる支援活動を展開することを主旨として開催された。

研修会開会に先立ち、この研修会に全面的に協力を頂いた、浜屋株式会社より復興協力金五百万円並びに義援金の伝達式が行われ、浜屋浜田博邦社長より黒山秀行総務に目録が手渡された。

研修会では、まず貸付金について、災害対策現地本部長岡晃澄部長より、災害対策金庫貸付金、寺院災害共済制度貸付金について説明があり、災害対策金庫貸付金については最高三千万円（一口百万円で三十口まで）で返済は三年据置き後十年で返済（毎年一回）。無利子。実際の貸付申請時期は毎年度四月、八月、十二月の月末までに申請書類を教務所長の進達を経て提出。その後、総局の復興資金貸付査定委員会によって決定される。また、寺院災害共済制度貸付金については、最高五百万円（一口百万円で五口まで）を五年間で返済。貸付利子は公定歩合の二分の一。

講演では古典建築技術院理事長の橋津寛教氏より「本堂・庫裏再建について」をテーマに話された。

また、東京から文化庁事務課認証係長の石川博美氏を迎えて「大蔵省指定寄付金について」講演があった。内容は大蔵省から指定寄付金の認証を得れば、寄付者に対して、個人では寄付金の合計額から一万円を引いた金額が寄付金控除として所得から控除され、企業の場合は寄付金の全額が通



講演を熱心に聞く参加者

被災寺代表総局と懇談

HOI誌

6月1日 滋賀教区仏婦連盟結成四十周年記念大会が米原文化産業交流会館で。土基教務所長・木村仏婦委員長・担当者が出席

2日 門徒総代会評議員総会が別院で。会長に多田実氏（出石組西宗寺門徒）が選出された

3日 阪神南組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

4日 阪神東組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

5日 別院総代清元功章氏の県議会議員選挙の立候補陣中見舞に土基教務所長が姫路へ

6日 教区災害対策常任委員会を別院で

7日 土曜仏教講座を別院で。講師は川添泰信師（龍谷大学助教授）

8日 テーマは「大悲のねがい」

9日 北摂組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

10日 永代経開法要を大谷本願で

11日 門推協会報編集委員会を別院で

12日 阪神・淡路大震災被災組組長・教区会議長と総局懇談会が本願で

13日 土基教務所長と代表者十三人が出席

14日 土基教務所長、災害対策

策現地本部員が出席

15日 邑久光明園真宗法話会が大谷本願へ納骨参拝

16日 別院仏婦定例法座。講師は和田宏之師（揖電東組源徳寺）

17日 青年僧侶の役員会を別院で

18日 阪神北組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

19日 9日 教区ビハラー事務担当者研修協議会が本願で

20日 9日は事務担当者が神戸の被災地の避難所を訪れ、ビハラー救護活動を実施し、閉会式を別院で

21日 播磨東組・加古川組・高砂組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

22日 10日 神明組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

23日 宗門関係学校陸軍・兵庫大学開学記念式典に土基教務所長が出席

24日 保育連盟理事会を別院で

25日 11日 仏教青年連盟委員会を別院で

26日 12日 少年連盟サマースクール下見に城崎組へ

27日 13日 組長・副組長・組相談員合同研修会を湯村温泉の三好屋グランドホテルで

28日 講師は笠文彦師（龍谷大学理工学部助教授・滋賀教区大津組泉福寺）

29日 テーマは「地球環境と生活」

30日 事務連絡では、(1) 阪神・淡路



門推員が教区新報発送を手助け

大震災に関することについて

1 寺院被災状況 2 義援金収支状況 3 救護復興協力金減免について 4 賦課金・教区費戸別院改築・兵庫教区教化センター設立建設現況について 5 第二次連如上人五百回遠忌推進の集いについて 6 兵庫教区総局巡回 7 連如上人五百回遠忌総合計画推進懇談会 8 救護活動 9 関係連絡事項 10 その他 11 第四回近畿地区組長協議会開催について 12 組長会弔慰金について 13 15日 16日 別院永代経法要。講師は応

供乗生師

本部災害対策委員会に向けて事前打合せを別院で

教区仏婦が神戸市内へ救護物資を配布

17日 門推員が教区新報の発送のために来院

19日 20日 第三ブロック布教使研修会が京都の東急ホテルで

20日 21日 組相談員研修会が本願で

22日 姫路西組へ義援金・門徒弔慰金を伝達

24日 得度考査を別院で

26日 本願第五回阪神・淡路大震災災害対策委員会が本願で

土基教務所長、災害対策現地本部員が出席

得度考査を別院で

27日 ボランティアの連絡会が別院で

六甲庵、兵庫救護隊、ビハラー救護センターなどから代表者が出席

七月三日開催の復興支援研修会の打合せを別院で

建設業者二十四社が来院

27日 28日 第三ブロック少年指導者研修会が驚森別院で

28日 仏婦常任委員会を別院で

終了後明石へ行き物資を西神中央の仮設住宅へ

教区災害対策常任委員会を別院で

近畿ブロック保育連盟連絡協議会が津村別院で

近畿ブロック

被災日校生をサマースクールへ招待

このほど岐阜教区少年連盟と九州ブロック少年連盟では被災した日校生を対象にそれぞれのサマースクールに無料で招待してくれま

す。被災四十四単位には案内済です。

なお、兵庫教区少年連盟でも、先月号の新報に同封しました要項の通り、被災日校生は無料で参加していただけます。

○岐阜教区少年連盟
期日 平成7年8月7日（9日）泊3日
会場 飛騨高山市内
対象 小学4年生以上中学生まで20人
参加費無料、往復交通費とも

○九州ブロック少年連盟
期日 平成7年8月27日（30日）泊4日
会場 飯田高原一阿蘇国立公園一別院別院
対象 小学5・6年生（中学生も可）50人
参加費無料、往復交通費とも

○九州ブロック少年連盟が負担。締切りは7月20日。

青僧真宗儀礼を学ぶ

このほど岐阜教区少年連盟と九州ブロック少年連盟では被災した日校生を対象にそれぞれのサマースクールに無料で招待してくれま

す。被災四十四単位には案内済です。

なお、兵庫教区少年連盟でも、先月号の新報に同封しました要項の通り、被災日校生は無料で参加していただけます。

○岐阜教区少年連盟
期日 平成7年8月7日（9日）泊3日
会場 飛騨高山市内
対象 小学4年生以上中学生まで20人
参加費無料、往復交通費とも

○九州ブロック少年連盟
期日 平成7年8月27日（30日）泊4日
会場 飯田高原一阿蘇国立公園一別院別院
対象 小学5・6年生（中学生も可）50人
参加費無料、往復交通費とも

○九州ブロック少年連盟が負担。締切りは7月20日。